

平成30年度指定管理者モニタリングシート（平成29年度実績）

1 施設等の概要					
施設名	滝山図書館		所管課	教育部図書館（内線3231）	
指定管理者名	株式会社図書館流通センター		指定管理者所在地	東京都文京区大塚3-1-1	
指定期間	平成25年4月1日～30年3月31日	利用料金制の有無	無	他自治体での指定管理者実績	指定管理館数(全国) 344館
施設の設置目的	生涯学習の拠点として市民の「知ること、学ぶこと」を保障するため図書館法に基づき条例で設置する。				
事業概要 (サービスの概要、自主事業等)	平成25年4月より滝山図書館・ひばりが丘図書館・東部図書館の地区館3館が指定管理者により運営されている。指定管理者制度導入後、地区館の開館時間の延長が実施され、一定のサービス拡充を図っている。				

※本施設は平成25年度より指定管理者制度を導入しており、当該事業者は平成25年度より本施設の指定管理者を実施している。

2 決算額及び利用状況											
市決算額	27年度	28年度	29年度	指定管理料 対前年度増減		指定管理料 過去3ヶ年の 平均決算額	利用人数(件)数			利用人数(件)数 対前年度比増減	
				29年度-28年度	28年度-27年度		27年度	28年度	29年度	29年度/28年度	28年度/27年度
指定管理料	110,845,000	112,826,000	114,948,680			112,873,227					
使用料				2,122,680	1,981,000		189,857	183,080	175,218	95.7%	96.4%
成果配分金											

※指定管理料過去3ヶ年の平均決算額欄:指定管理者制度の導入から3年を経過していない場合は、指定管理者制度導入後からの平均決算額を記入。

※成果配分金は当該年度に記載(市の決算上は翌年度収入)

3 モニタリング評価		
評価項目	評価の視点	評価
公平な使用の確保	<公平性の確保>使用許可は適切に行われたか、不適切な利用制限はなかったか	3
市民サービスの向上	<事業等運営>新たなサービスの提供等、具体的なサービスの向上を図っているか	3
	<施設維持管理>施設設備の維持管理のための、清掃業務、備品管理等は適切に行われているか	3
	<情報管理>個人情報保護及び情報公開について十分配慮し、必要な措置を講じているか	3
	<危機管理>事故・災害等に対する綿密な危機管理体制が整っているか	3
	<市民協働>利用者や地域住民が参加する図書館運営がなされているか	3
	<ノーマライゼーション>障害者や高齢者等に配慮した運営をしているか	3
	<モニタリング>利用者の満足度を図る仕組みや事後評価がなされているか	3
経費の節減など効率的な運営	<収支の改善等>サービスの水準を維持しつつ、経費削減のための工夫がなされ、利用者にとって適正な運営をしているか	3
	<経費の妥当性>管理運営経費は、その内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	3
	<再委託業務>再委託する際に、適正な事務処理がなされているか	3
	<環境対策>市の環境施策を理解し、省エネ省資源等、地球環境に配慮した管理運営がなされているか	3
安定的な施設サービスの継続的な提供	<サービスの信頼度>施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全、安定的な施設管理ができていますか	3
	<職員の専門性、配置体制>職員の指導育成などが適正にされており、施設の管理及び事業の運営を行うにあたって十分な能力を有し、事業内容に適した職員が配置されているか	3
	<労働条件>職員に対し、労働法規等を遵守した適正な勤務体制か	3
	<経営基盤>指定管理者(母団体)は、公共サービス事業提供者にふさわしい理念・方針のもと、経営が安定しており、施設を継続的・安定的に管理できる能力を有しているか	3
施設の利用によるサービス提供 ※それぞれの施設における事業計画等を参考に、評価の視点を設定する	<利用者の拡大>広く活用される図書館を実現しているか	3
	<地域ニーズに合わせた図書館サービスの向上>地域の実情や市民の要望にあった図書館サービスを発展させているか	3
	<子ども読書推進>質の高い子ども向け事業を実施し、子ども読書活動の推進に寄与しているか	3
	<独自性のあるサービス>独自性のある自主事業を実施し、より高い成果を得たか	3
合計点数		60点/100点

※評価は、5(期待を大きく上回る)、4(期待以上)、3(期待通り)、2(期待をやや下回る)、1(期待を下回る)の5段階評価とし、3を標準とする。

4 評価点（現状と課題等を含む。）	
<p>*3の評価を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。</p> <p>基本協定書、年度協定書、業務仕様書等に基づき、施設の管理運営や事業が行われた。</p> <p>前年度の東部図書館に引き続き、滝山図書館でも地域センター祭りに参画し、寄贈本の販売を行ったことは、指定管理者であることを活かした事業となっている。</p> <p>また、「まちゼミ」(地域コミュニティ事業)への継続参加や読書会等を実施している。</p> <p>滝山図書館においては、新規登録者数及び貸出点数(利用人数)ともに減少しているが、市立図書館全体として登録者数が減少傾向である。しかし、さまざまな図書館サービスがある中で、市民の利用方法は多様化しており、実際の図書館利用者が減少しているものではないと推測される。</p>	

5 総合評価					
公平な使用の確保	市民サービスの向上	経費節減など効率的な運営	安定的な施設サービスの継続的な提供	施設の利用によるサービス提供	A期待を大きく上回る B期待以上 C期待通り D期待をやや下回る E期待を下回る
・公平性の確保	・事業等運営 ・施設維持管理 ・危機(情報)管理対策 ・市民協働 など	・収支の改善等 ・経費の妥当性 ・再委託業務 ・環境対策 など	・サービスの信頼度 ・職員の専門性、配置体制 ・労働条件 ・経営基盤 など	・設定した評価の視点	C

6 次年度以降に向けた方向性	
<p>*3及び4の記載内容を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。</p> <p>市民の図書館の利用方法が多様化している中で、資料・情報提供サービスにより、市民一人ひとりと東久留米のまちを支える図書館活動を継続し、中央図書館と連携した取り組みを行っていくことを期待する。</p>	